古川工 甲子園へ

高校野球宮城大会制す
王旗大会（大崎タイムス社主催）出場者も活躍

第93回全国高校野球選手権宮城大会は7月26日、仙台市宮城野区の日本製紙クリネックススタジアム宮城で決勝戦があり、大崎市の古川工業が3－1で利府町の利府に勝ち、春夏を通して初めての全国大会（甲子園）出場を決めた。大崎地方の高校が甲子園に出場するのは初めて。選手の中には、〝県北のちびっこ甲子園〟として親しまれている王貞治旗争奪少年野球選手権大会（王旗大会、大崎タイムス社主催）で活躍した選手もいる。選手たちは6日、阪神甲子園球場（兵庫県西宮市）で始まった大会に宮城県を代表して挑む。

高校野球の全国大会は、春と夏にそれぞれ甲子園球場で行われ、春は「選抜高校野球大会」（センバツ）、夏は「全国高校野球選手権大会」（夏の甲子園）と呼ばれる。このうち、夏の甲子園には全国47都道府県の代表チームが集まり、日本一を決める。

7月に開かれた宮城大会には、県内の高校77校が出場。東日本大震災の津波で校舎が壊れた学校、家族を亡くした選手、ひび割れたグラウンド。選手たちは悲しみや練習のできない悔しさなどの思いを背負い、グラウンドに立った。

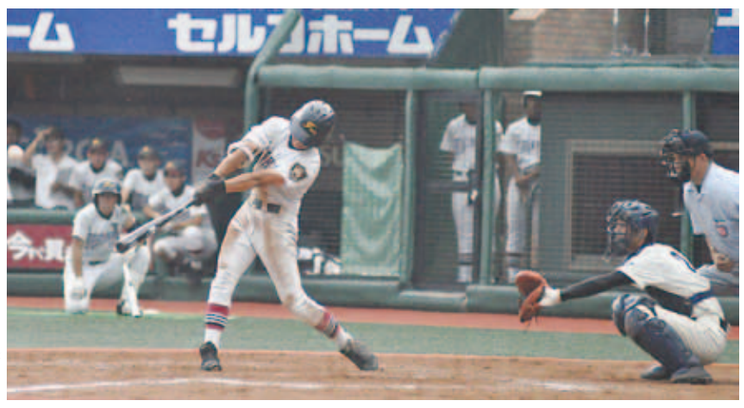
古川工は、今年のセンバツに出場した東北を準決勝で破り、決勝へ。決勝は、センバツ出場経験がある利府と対決。古川工は6回表に3人連続ヒットで1点を先制。7、8回に追加点を入れて、今大会の優秀選手に選ばれた山田大貴投手（3年）が利府の打線を抑えて逃げ切った。

古川工の選手のうち、宮城大会決勝で試合を決定付ける決勝打を打った只埜達郎選手（3年）、3点目を追加した高橋徳至選手（同）ら8選手は小学生のころ、大崎タイムス社が毎年夏に開く王旗大会（今年は震災の影響で中止）でも活躍した。

この大会は、868本のホームラン世界記録を持つ元巨人軍の王貞治さん（福岡ソフトバンクホークス球団会長）から優勝旗が贈られ、1981年に始まった。第26回大会までは大崎地方のチームで争ってきたが、大崎タイムスが創刊60周年を迎えた2007年の第27回大会から地域を拡大、県北の力のあるチームが出場する大会になった。王旗で活躍し甲子園に出場した選手は過去にもいたが、地元大崎地方の高校から出場するのは初めて。

今野晴貴主将（3年）は「甲子園では、宮城に元気を与えられるようなプレーをしたい。自分たちの野球を全力でやり、優勝旗を持ち帰りたい」と意気込んでいる。

大会優秀選手に選ばれた山田投手。優勝を決めガッツポーズ



決勝8回表、ライト前ヒットを放つ高橋徳至選手

決勝にはたくさんの応援団が駆けつけた

甲子園行きを決め応援席に駆け寄る選手たち

宮城大会終了後、記念撮影する選手

ひとこと言いたい!!

イワナ捕まえたぞ
大崎市古川第三小2年
氏家　慧大君（7）

お父さんと2人で、「あつまれ！鳴子ダム2011」に参加し、湖をボートで一周したり、イワナのつかみ捕りをしました。

ボートから水を触ったら、ひんやりして気持ちよかったです。イワナはとても素早かったけど、大きな石に隠れているところを狙って、なんとか捕まえることができました。

工場見学に参加
大衡村大衡小5年
伊藤　希愛さん（10）

同級生のみんなと大衡村で車を造るセントラル自動車の工場見学に行ってきました。

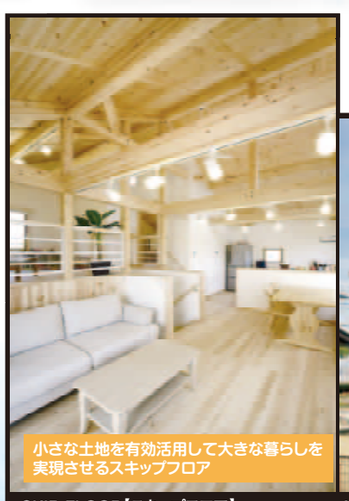
車体を溶接する工場では、見たこともないロボットが火花を散らして車の部分と部分をつなげていました。ロボットひとつの値段を聞いたら、とても高額で、これにも驚きました。

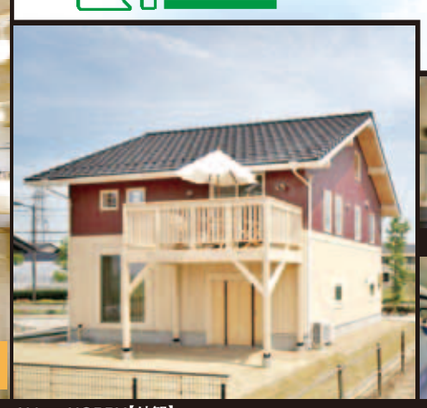
自分の生まれた村で造られた車が世界や全国に届けられると思うとわくわくします。

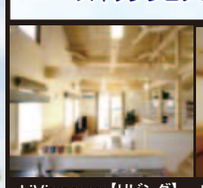
暑中お見舞い申し上げます。
モデルハウス2棟（穂波の郷）好評公開中!!
お盆期間中も元気にオープンしています。お気軽にご来場下さい。

「遊びつくす家」という新提案

ALLen HOBBY アレン・ホビー
人生を楽しむことにこだわったスキップフロアの家


小さな土地を有効活用して大きな暮らしを実現させるスキップフロア
SKIP FLOOR【スキップフロア】

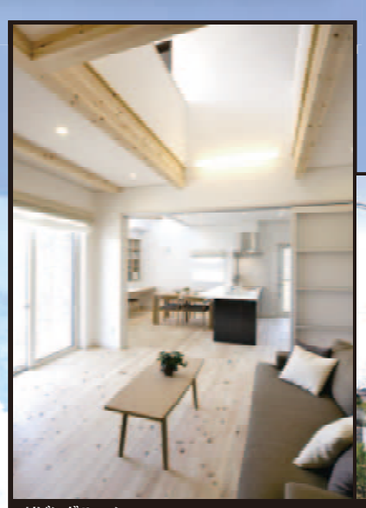

ALLen HOBBY【外観】


LiVing room【リビング】

Inside stocker【インサイドストッカー】

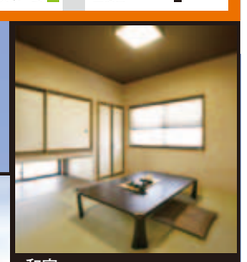
Stocker【アウトサイドストッカー】

children's room【子供部屋】


リビングルーム

うれしい機能がたくさん、自然素材が心地いい、コンパクトで機能的な家
KimA-S

KimA-S【外観】


和室

主寝室

㈱髙勝の家　お問い合わせはこちらまで　0120-878-071
宮城の気候風土に最適な家づくり。
http://www.takakaz.com/